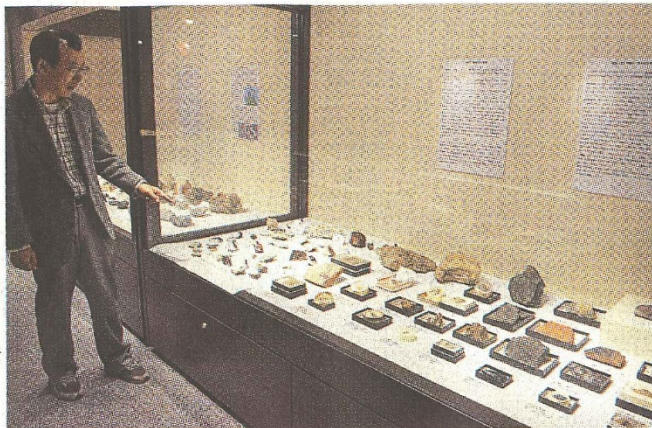


# 「青森県の石」紹介



弘大資料館で企画展

## 世界唯一の現物化石も

弘前大学資料館で企画展「『石』の世界」が7月12日まで開かれている。日本地質学会が各都道府県の岩石、鉱石、化石について選定した「県の石」のうち、同展では世界で唯一の「アオモリムカシクシラウオの化石」の現物など「青森県の石」を展示、紹介している。

(成田真由美)

日本地質学会は今  
年、創立125周年を  
迎え、記念事業の一つ  
として全国の「県の  
石」を網羅した「県の  
石図鑑」を出版予定  
だ。同展はこれに併せ  
て企画した。

青森県の石は「錦  
石」「菱マンガン鉱」  
「アオモリムカシクシ  
ラウオの化石」の三  
つ。「錦石」は津軽地  
域を中心に産出され、  
磨くと美しい光沢を放  
つ。

企画展「『石』の世  
界」で展示する石につ  
いて解説する根本講師

※この画像は当該ページに限って陸奥新報社が利用を許諾したものです。  
[問合せ先]弘前大学理工学研究科  
E-mail:r\_koho@hirosaki-u.ac.jp

森市の堤川上流で発見された約1500万年  
前のもので、細部まで  
観察することができる  
世界で唯一の化石。普  
段は県立郷土館の收藏  
庫に収められている。  
同展ではこれらの「県  
の石」について、現物  
とともに、定義や特徴  
についてもパネルで解  
説している。

開館時間は午前10時  
〜午後4時。日曜・祝  
日休館。入館無料。

地質学が専門の同大  
理工学研究科の根本直  
樹講師は「三つそろつ